

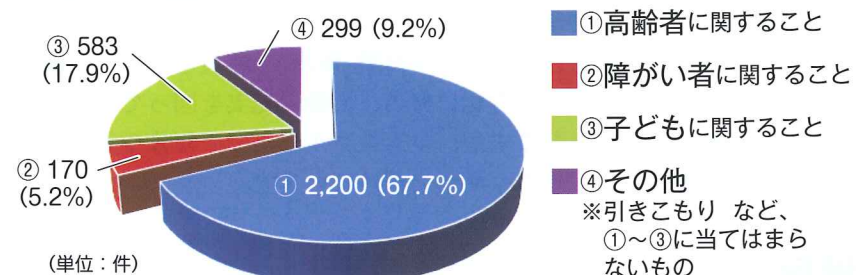
民生委員児童委員の活動

民生委員児童委員は、高齢者、障がい者、子育て、生活困窮など、福祉的な支援が必要なときの相談や地域での見守りなどの活動をしています。

また、地域での高齢者や子育てに関するミニ・サロン、福祉施設などでのボランティア、交通安全パトロール活動などさまざまな活動の実施や協力などを行っています。

令和元年度活動実績

相談・支援件数 (3,252件)



令和元年度の活動実績は、福祉に関する相談・支援活動が合計3,252件あり、分野別では、高齢者に関することが2,200件、障がい者に関することが170件、子どもに関することが583件、その他が299件になりました。

また、年間活動日数は総数で21,073日、一人当たり約149日になりました。近年一人当たりの活動日数は160日程度であるため、おおよそ横ばいとなります。



通学パトロールの様子



役員会の様子

専門部会の活動について

各地区の民生委員活動には、地域の見守りなどの活動だけでなく、それぞれ児童福祉専門部会、障害者福祉専門部会、高齢者福祉専門部会といった専門部会を設けています。

それぞれの部会の立場から、話し合いや研修会を実施し、地域のこれからの考えた活動もしています。

広報委員会

委員長 出縄 幹雄 (伊勢原北)
委員 【地区担当】

犬飼 規喜 (伊勢原北)
湯口 昌子 (伊勢原南)
長塚多美江 (大山高部屋)
飯塚 和男 (比々多)
大木都起子 (成瀬)
浅田 信男 (大田)

【高齢者福祉専門部会】

山口 健明 (比々多)

【障害者福祉専門部会】

諸星 俊郎 (大田)

【児童福祉専門部会・主任児童委員】

岩崎 敏一 (成瀬)

編集後記



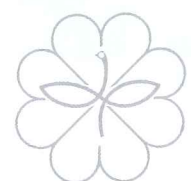
伊勢原市公式イメージキャラクター「クルリン」

今回の民生委員児童委員だよりは、より見やすくなるよう、昨年度と比較して紙面サイズを2倍に変更しました。いかがでしたでしょうか。

本年度は新型コロナウイルスの影響により、多くの行事や会議が延期・中止となり、民生委員児童委員の活動も、思うようにできないことが多々ありました。

しかしながら、中でも活動できた研修や、日々の活動内容など、身近な話題を皆さまに紹介することができたのではないかと考えております。

まだまだ自粛ムードが続いていますが、これからも地域の皆さまの身近な相談相手として、各地域一体となって民生委員活動に取り組んでいきたいと思っております。



民生委員児童委員 だより

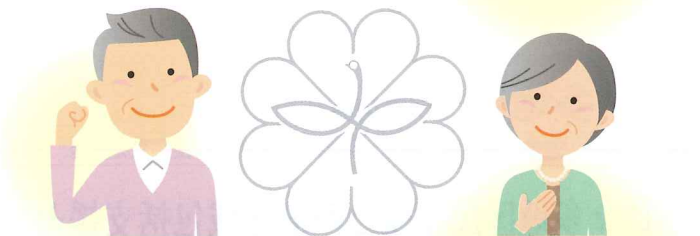
発行 伊勢原市民生委員児童委員協議会 〒259-1188 伊勢原市田中348番地
編集 広報委員会 ☎0463(94)4718
ホームページ：『伊勢原市 民生委員』で検索 <http://www.city.isehara.kanagawa.jp/docs/2018053100033/>



民生委員児童委員は地域の身近な支援者です

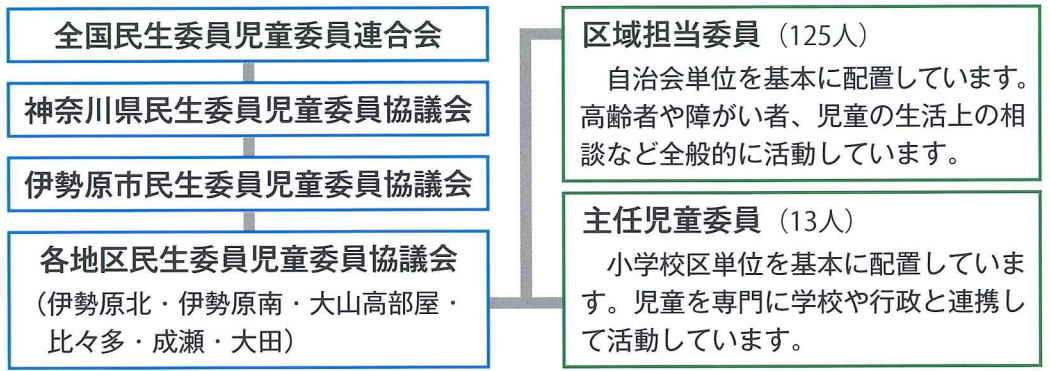
こんなことで困ったときは... 民生委員児童委員にご相談ください!

- 高齢でひとり暮らしの方や高齢者世帯の健康不安や非常時の避難が心配...
- 親が寝たきりで認知症がある。対処の方法はあるか...?
- 障がいがあるがどこに相談すればいいか...?
- 子どもが生まれたが、近隣に親族や知人もなく何かあったら不安...
- いつも子どもを怒鳴る声が出ている。夕方遅くになっても自宅に帰らない子どもがいる...
- 福祉サービスはどうすれば受けられるのか...



民生委員児童委員とは、民生委員法と児童福祉法により、3年間を任期に厚生労働大臣から委嘱された無報酬で守秘義務を持つ特別地方公務員です。地域の福祉に関するさまざまな問題の解決に向けて市や関係機関、関係団体とのつなぎ役として活動しています。

民生委員児童委員の組織について



令和元年12月に一斉改選が行われました

令和元年12月に一斉改選が行われ、現在138人の民生委員児童委員で地域の見守り活動を行っており、新しく仲間に加わった委員も一緒に活動をしています。何か相談したいことがあればお気軽にご相談ください。



神奈川県民生委員児童委員協議会キャラクター「みんぴょん」

民生委員児童委員の連絡先

担当委員をお知りになりたいときは、事務局に連絡してください。
☎ 連絡先 伊勢原市役所 1階 福祉総務課 ☎94-4718(直通)

大山高部屋地区 25自治会

大山上、大山中、大山下、子易上、子易下、川上、び引、峰岸上、峰岸下、ハイム上粕屋、峰岸団地、辻尾崎秋山、台久保、山王原、石倉、子易、一之郷中丸、宮下、宝地九沢長竹、原、日向の里、新田、洗水、坊中高橋、藤野

— 大山高部屋保育クラブでの講習会 —

昭和45年に民生委員児童委員が引き継いだ「保育クラブ」は、今年で50周年を迎え、月1回、未就学児とその保護者を中心に活動しています。

令和2年2月には伊勢原消防署南分署で「子ども救命救急」の講習会を会員27名、委員18名の参加で行いました。

講習会では、子供用AEDの使用法や応急処置方法を学んだ後に、30m上昇するはしご車や消防自動車の説明を聞きました。子どもたちは小さい防災服を着用してはしご車の先端に乗り、5m上昇したところで記念に写真を撮りました。滅多にできない体験に、子どもたちもその保護者の方々も大喜びでした。



保育クラブの子ども救命救急講習会

比々多地区 11自治会

神戸、串橋、笠窪、坪ノ内、善波、栗原、三ノ宮、白根、もえぎ台、大住台、ベルフラワーズ大住台

— 比々多地区民児協と西部地域包括支援センターとの意見交換会 —

比々多地区民児協では毎月の定例会終了後、西部地域包括支援センター職員(1~2名)に参加していただき、高齢者の支援など様々な課題についての意見交換を行っています。その中では、新型コロナウイルスの影響で数か月間の空白もありましたが、介護の相談、高齢者を狙った詐欺、暑いときのマスク着用法、認知症などについて活発な意見交換が行われ課題解決の一助となっています。また、地域での見守り活動を行っていく際にも、包括支援センターとの連携が深まることで、民生委員児童委員活動の対応力等の向上に役立つものともなっています。



夏を迎えた中 マスク姿での意見交換会

伊勢原南地区 20自治会

大原町、千津南、下大竹、谷戸大竹、池端、中尾、大匂、馬渡、八幡台一区、八幡台二区、八幡台三区、原之宿、天王原、上平間台、沼目団地、星和マンション、ネオハイツ、平間台、木津根橋、サンクレイドル

— 日々の見守り活動 —

日々の活動としては、高齢者や障がいのある方、子育て家庭の見守りと相談・支援を行っています。

その他に例年は、高齢者福祉施設でのデイサービス支援、児童相談所等へのタオルの寄贈、小中学校との情報交換、公民館まつりや福祉施設のイベント協力なども行っています。

本年度は新型コロナウイルスの影響により、これらの活動は一部の限られたものだけになりましたが、竹園小学校の下校パトロールは、登校の始まった6月から行っています。子どもたち一人ひとりの様子を見ながら安全のための声かけをし、一緒に帰る時間は、楽しみであり、民生委員児童委員としてのやりがいを感じるひとときでもあります。



下校パトロールの様子

伊勢原市の 民生委員児童委員活動

伊勢原市の民生委員児童委員は138人です。このうち自治会の範囲を基本に地区で活動する委員が125人、児童を専門とする主任児童委員が13人となっています。

各委員は、6地区に分かれ、個人活動だけでなく、地区全体での活動も行っています。

ここでは各地区の様々な活動をご紹介します。

地区名	委員総数	★
伊勢原北	25人	2人
伊勢原南	31人	2人
大山高部屋	20人	2人
比々多	16人	2人
成瀬	33人	3人
大田	13人	2人
合計	138人	13人

※本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、活動をする際は短時間かつ距離をおいての活動となっています。従来どおりの活動に戻るまでご不便をおかけすることもあるかと思いますが、ご了承願います。

★は委員総数内における主任児童委員の人数



主任児童委員

— 主任児童委員の活動 —

主任児童委員は、18歳までの子育ての悩みや心配事などを民生委員児童委員、学校、子ども家庭相談課等と連携し、支援を行っています。毎月1回の連絡会で情報交換や研修を行っているほか、「子育てサロン」、「ふたごちゃんすべしやるデイ」への協力を行っています。

また平塚児童相談所一時保護所において、幼児から小学校低学年の子どもに対して紙芝居や絵本の読み聞かせを定期的に行っています。子どもたちの生活に変化と潤いを与えられるように、これからも続けていきたいと思っています。



おはなしクルリン(紙芝居)の練習

成瀬地区 21自治会

下糟屋、東富岡、粟窪、前高森、北高森、小金塚、石田、見附島、下落合、高森台、東高森団地、あかね台、南落合、白山山団地、みどり、リパティタウン伊勢原、すみだ、リパティタウン伊勢原第2、リパティタウン伊勢原第3、アイリスの丘、東成瀬

— 地区ならではの取組み —

成瀬地区委員は33名です。赤ちゃん訪問、子育てサロン、児童放課後見守り活動、小中学校との情報交換会など地域の子どもの健やかな成長と安全を願い活動しています。また、高齢者福祉、障がい者福祉、児童福祉の各部会ごとの施設見学や、環境美化センター等市内の公共施設の視察を通し、環境問題や福祉への理解と関心を深め、日頃の活動に活かしています。

さらに、近年はナルミンプランと名付けたグループ討議(研修)の機会を設け、地域の問題やその解決策を話し合う事で、課題の共有化に努め、活動の充実を図っています。

現在はコロナ禍の中、行動に制限はありますが、少人数グループでの研修や手作りマスクを小学校や福祉施設へ寄贈するなど地道な活動を続けています。



グループ討議(ナルミンプラン)の様子

伊勢原北地区 15自治会

伊勢原上、伊勢原第三、伊勢原第四、片町第一、片町第二、七区第二、駅前第一、千津北、金山、池端坂戸、田中、坂戸第一、坂戸第二、坂戸第三、アメニティ坂戸

— 地域の皆さまの相談相手をめざして —

本年の活動は、新型コロナウイルスの関係で目立った活動もできず自粛せざるを得ない年でありましたが、地域の皆さまの悩みや迷いを解消するために、市役所などの福祉関係とのパイプ役としての活動や、平素の高齢者見守り支援も『三密回避・マスク・消毒』などを考えて行動しています。

また、私たちは平日頃の活動として福祉活動推進のための勉強会や講習会などに参加し、勉強をしています。これら様々な研修で経験したことや学んだことをもとに、地域の皆さまの相談相手として支援していきたいと思っていますので、お気軽にご相談ください。



地区定例会の様子

大田地区 11自治会

上谷、下谷、沖小稲葉、西屋、新屋、下小稲葉、上平間、下平間、東沼目、西沼目、つきみ野

— コロナ禍における研修 —

令和元年12月、新たに委嘱された3名を交え活動を開始しましたが、新型コロナウイルスの影響で、昨年度参加した公民館まつりを最後に、小・中学校との交流、募金活動、観光道灌まつりなど、様々な活動が休止となりました。

活動が制限される中、平塚児童相談所が紹介された映像を使って研修を行い、児童虐待や一時保護の実態について学びました。年々増加する虐待の実態や、児童相談所の対応方法など、現在、一時保護を取り巻く環境が非常に逼迫している状況であることがよくわかりました。

今後も様々な研修を活かし、高齢者や子どもたちをはじめとした地域の見守り活動をしていきたいです。



間隔をあけて研修を受講している様子